

『エイビーロード』 2016年夏休みツアー問合せ概況

- ・ 人気旅行先1位は「オアフ島」
- ・ 2位「台北」、3位「セブ島（フィリピン）」
- ・ 4日以内の短期ツアーに伸び、夏休み期間は分散傾向

株式会社リクルートライフスタイル（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：浅野 健）に設置されたエイビーロード・リサーチ・センター（センター長：沢登 次彦）は、同社が運営する海外旅行検索・比較サイト『エイビーロード』（<http://www.ab-road.net/>）ユーザーの海外ツアーへの問い合わせ実績を集計し、2016年夏休み期間の海外旅行マーケットを考察しましたのでご報告します。

結果要約

1. 夏休みツアーの人気旅行先・・・P2

- ・ 人気旅行先は1位「オアフ島」、2位「台北」、3位「セブ島（フィリピン）」
- ・ アジア圏からは「シンガポール」、「ダナン」が人気上昇
- ・ 「パリ」「ロンドン」がベスト10圏外となり、代わって「ラスベガス」「ヘルシンキ」などがランクイン
- ・ ブロック別ではアフリカ・その他が大きく躍進したほか、オセアニアが前年に引き続き好調を維持

2. 夏休みツアーの日数、希望する出発日・帰国日・・・P3

- ・ 「3日以内」「4日」などの短期が増加。平均日数は5.8日で前年と変化なし
- ・ シルバーウィークの日並びがよかった前年に比べ、9月出発は減少7月出発も増え、夏休み期間は分散する傾向

【本件に関するお問い合わせ先】
<https://www.recruit-lifestyle.co.jp/support/press>

1. 夏休みツアーの人気旅行先

2016年夏休み期間（7月16日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行）の新規問い合わせ数（1月1日～6月7日までの問い合わせを集計）は、都市別では「オアフ島（ハワイ）」が1位だったが、シェアは10.6%と前年を下回った。2位に「台北」、3位に「セブ島（フィリピン）」。4位の「グアム」が2ランクアップした。毎年上位に入っていた「パリ」は圏外となり、前年9位の「ロンドン」も同じく圏外へ。7位の「バリ島（インドネシア）」、「シンガポール」、10位の「ダナン」などのアジア圏や、遠距離エリアでは10位に「ラスベガス」「ヘルシンキ」が新たにベスト10に入った（データ1）。

「シンガポール」は人気ホテルに泊まるツアーが依然として人気で、羽田発で行ける手軽なアジア圏として人気が定番化している。「ラスベガス」は「グランドキャニオン」「アンテロープキャニオン」などが含まれたツアーが人気で、大自然・絶景ブームが続いているようだ。また現地でしか見られないショーを目的に訪れるツアーも人気だ。「ヘルシンキ」はここ数年女性を中心に北欧ブームであることが後押ししているよう。「ダナン」は高級ビーチリゾートとして近年人気が高まっている。

エリア別ではアジア、アフリカ・その他、オセアニアが前年比越え。特にオセアニアは前年に引き続き好調を維持している（データ2）。

■データ1：2016年 夏休み期間の問い合わせ 旅行先シェアTOP10／参考：2015年、2014年

順位	2016年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	10.6%
2	台北	4.3%
3	セブ島(フィリピン)	4.1%
4	グアム	2.9%
5	バルセロナ	2.8%
6	ローマ	2.7%
7	バリ島(インドネシア)	2.1%
7	シンガポール	2.1%
7	ソウル	2.1%
10	ラスベガス	1.8%
10	ヘルシンキ	1.8%
10	ダナン	1.8%

順位	2015年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	12.9%
2	セブ島(フィリピン)	4.8%
3	パリ	3.7%
4	台北	3.1%
5	バルセロナ	2.8%
6	グアム	2.7%
7	ローマ	2.5%
8	ソウル	2.3%
9	ロンドン	2.2%
10	ホーチミン	1.9%
10	バンコク	1.9%

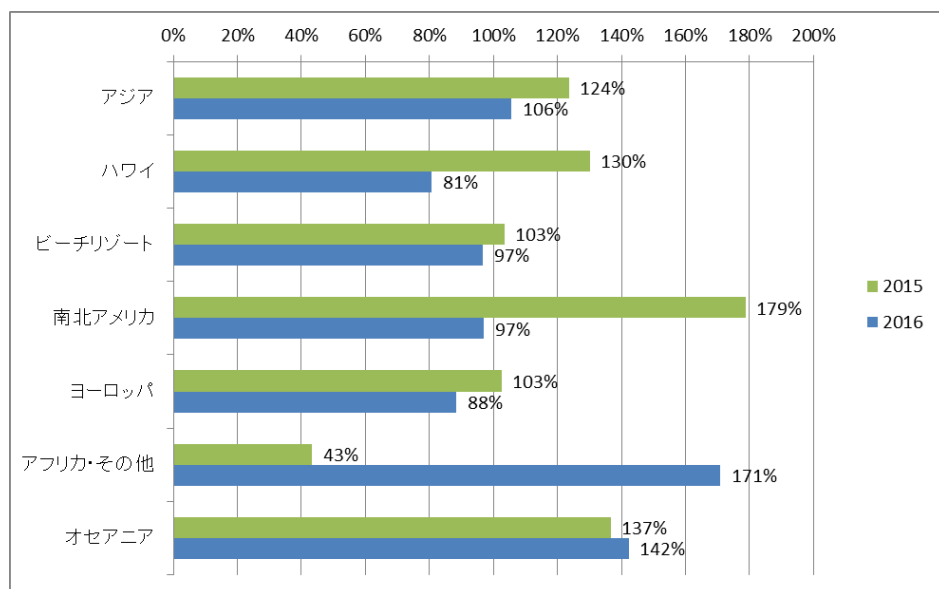
順位	2014年問い合わせ先	シェア
1	オアフ島	10.8%
2	パリ	3.8%
2	台北	3.8%
4	グアム	3.3%
5	ローマ	2.9%
6	バルセロナ	2.7%
7	シンガポール	2.3%
7	セブ島(フィリピン)	2.3%
9	ソウル	1.7%
10	フィレンツェ	1.6%
10	ベネチア	1.6%

※ 小数点第2位を四捨五入した数値でランキング

※ 夏休み期間の定義は、いずれの年も7月16日～9月30日のいずれかが旅行期間に含まれる旅行。すべて同じ年の1月1日～6月7日までに発生した問い合わせを集計

※ 「問い合わせ」：『エイビロード』お客様のメールによる旅行会社への問い合わせと、旅行会社へのホームページへのリンク数を含めた数値

■データ2：2016年 夏休み期間の問い合わせ エリア別前年比

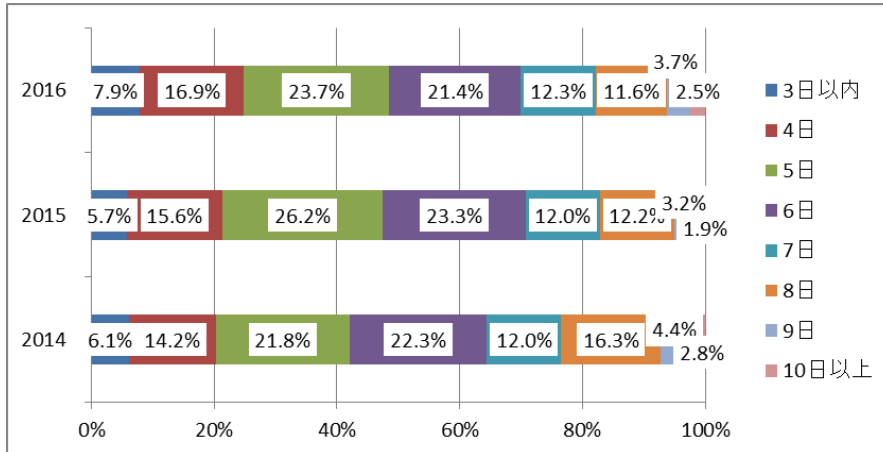


※ 前年問い合わせ実績を100%としたときの、2016年の問い合わせ実績を%で表示

2. 夏休みツアーの日数、希望する出発日・帰国日

ツアー日数に関しては、2016年は「5日」「6日」がそれぞれ2割以上を占めておりボリュームゾーンとなっているが、前年までのシェアと比較するといずれも減少傾向にあり、「3日以内」「4日」の短期が増加（データ3）。平均日数は前年と同様5.8日（データ4）。出発希望日はお盆のシェアが高いものの、希望帰国日は「7月18日」のシェアが最も高い（データ5）。月別シェアでは、シルバーウィークの日並びがよかった前年に比べて、9月の出発・帰国が減少。今年から「8月11日」が『山の日』に制定され祝日となったが、8月の出発・帰国日のシェアは2014年よりもむしろ低い結果となった。前年と比べて7～9月にかけて分散した形となった。

■データ3：夏休み期間の問合せ 日数別シェア（2014～2016年比較）



■データ4：夏休み期間の問い合わせ 平均日数（2014～2016年比較）

年	2014	2015	2016
平均日数	6.0	5.8	5.8

■データ5：夏休みツアー問い合わせシェア 希望出発日・帰国日（日にち別）

順位	希望出発日	シェア	順位	希望帰国日	シェア
1	8月11日	6.7%	1	7月18日	5.5%
2	8月10日	4.3%	2	8月15日	5.2%
3	7月16日	3.3%	3	8月16日	4.5%
4	8月13日	3.2%	4	8月14日	3.4%
5	7月15日	3.1%	5	8月17日	3.3%
5	7月14日	3.1%			

■データ6：夏休みツアー問い合わせシェア 希望出発日・帰国日（月別合計）

出発月	2014	2015	2016
7月出発計	30.3%	26.2%	28.8%
8月出発計	55.3%	39.2%	51.1%
9月出発計	14.4%	34.6%	20.0%

帰国月	2014	2015	2016
7月帰着計	25.2%	21.9%	22.8%
8月帰着計	58.4%	41.8%	55.0%
9月帰着計	15.5%	35.5%	21.1%
10月帰着計	0.8%	0.9%	1.2%